

機関紙
News Release

ニュース リリース

発行日 2020-7-10

第 2 4 号

発行者 大仙市手をつなぐ育成会
発行責任者 会長 柴田 貞二
Tel 0187-65-2525
事務局 〒014-0802
大仙市払田字念仏谷地27-1
新田亮子 Tel 0187-69-3108

春です・・・心が和む風景



5月下旬、鳥海国定公園内にある桑ノ木台湿原から鳥海山を望みました。

平成31年度(令和元年)
大仙市手をつなぐ育成会総会
開催中止

会員による
書面評決

令和2年5月28日
会員2/3の承認
議案1号、議案2号可決

年度変わりの機関紙1ページは総会の内容が常連になっていました。令和2年度に入り、今では地球全体に新型コロナウイルス感染症の恐怖に人類はダジタジの状態が続いています。日本国内に於いても、その負の影響は図り知れないダメージを国民、一人ひとりが感じ取っています。早急にワクチンと治療薬の普及こそが一番の解決策と思いつつ、まずは正しい感染防止策を生活に取り入れコロナに打ち勝ちましょう。総会も中止、視察研修も延期、県大会延期、全国、東北大会も開催中止と聞いています。大仙市手をつなぐ育成会活動も中止若しくは開催延期もやむを得ない方策になると思います。又、長年に渡り賛助会員の皆様からの支援は令和2年度は取り止めとする事を役員会で決めました。



平成31年4月11日(木)大曲広域交流センターにて総会を開催しました。会員の出席者は委任状を含めて48名でした。



平成30年6月6日(木)視察研修は新築された社会福祉法人水交会「かわ舟の里角間川」施設利用者保護者、在宅保護者等24名参加者しました。



第61回手をつなぐ秋田県大会、担当地域は横手市になります。県内から410名、大仙市から会員14名の参加者でした。開催日は令和元年8月4日、横手セントラルホテルで開催されました。



平成31年度の交流・親睦大会は令和元年10月17日(木)奥羽山荘にて開催しました。参加者は18名でした。

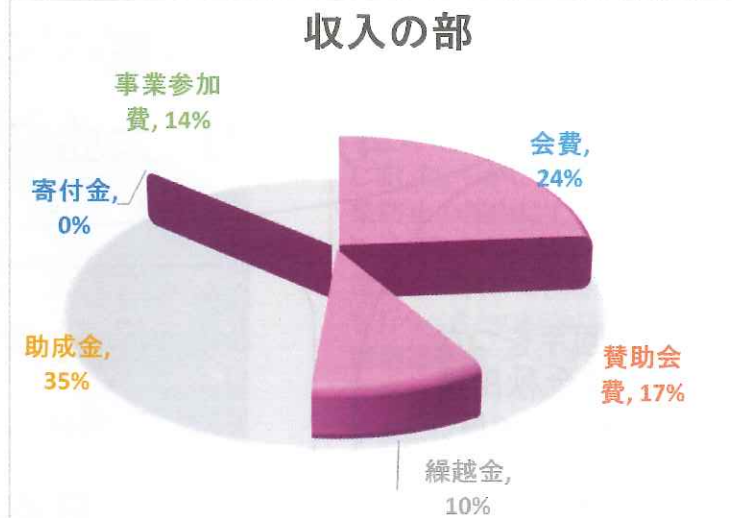


本人活動支援事業、平成31年度も認可になり令和元年11月9日(土)仙北ファミリーボウルにて開催しました。全体で24名の参加者でした。

その他主な行事への参加		
月日	事業名	参加者
5・7・9・2・3月	役員会	5回各役員参加
6月7日	県育成会総会	会 長
6月・11月	機関紙発行	22号、23号
10月	大仙市福祉大会	会 長
2月	育成会県南協議会	会長・副会長
3月	大曲支援学校卒業式	副会長
3月	監 査	役員他8名

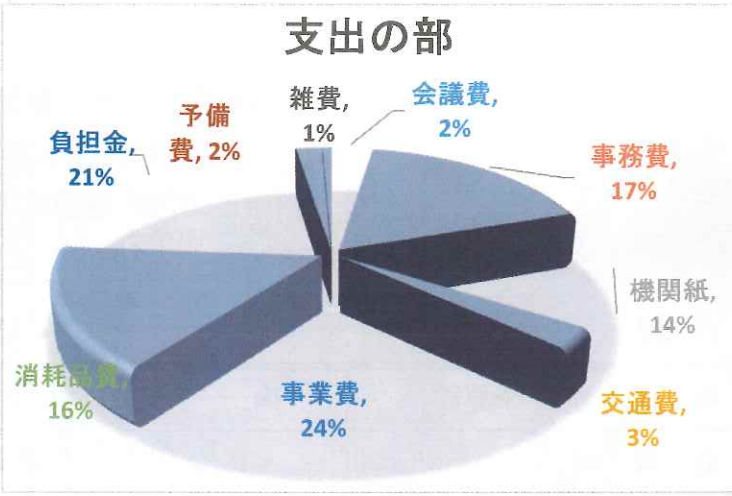
・収入の部

項 目	決 算 額	摘 要
会 費	96,000	48名
賛助会員	71,000	18名
繰越金	40,596	前年度より
助成金	140,000	大仙市、社協
寄付金	0	
事業参加費	56,000	会員参加費
雑収入	0	
合 計	403,596	



・支出の部

項 目	決 算 額	摘 要
会議費	9,032	理事会・総会
事務費	56,311	消耗品・通信費
印刷製本	50,000	機関紙2回
交通費	9,600	県総会他
事業費	85,102	研修・交流会他
消耗品費	56,000	
負担金	76,000	県育成会・社協
予備費	6,566	弔電他
雑費	2,403	郵便振替手数料
合 計	351,014	



収入総額	403,596 円
支出総額	351,014 円
差引金額	52,582 円
2年度繰越金	52,582 円

平成31年度 県育成会本人活動助成事業収支決算書

収入の部		支出の部	
助成金	60,000	通信運搬費	3,150
事業費より	12,672	消耗品費	34,669
		会場費	31,900
		保険料	
		雑費	2,953
合計	72,672	合 計	72,672

平成31年度会計監査報告

令和2年3月19日、会長、会計係立会いの上に、平成31年度会計決算について会計帳簿、貯金通帳、現金の監査をしたところ正確かつ適正に処理されていたことを確認しましたので報告いたします。

令和2年3月19日

監 事 高 橋 哲 美
監 事 進 藤 功

令和2年度はどんな事業をするんでしょう!

議案 第2号

総 会

4月16日 大曲交流センター

第62回手をつなぐ育成会秋田県大会8月30日
潟上市

役員会

5/16～

6月～3月必要時

研修・交流会

6月11日・10月15日
仙北市・大仙市内

大仙市福祉大会参加10月予定
本人活動支援事業11月開催
その他必要研修事業参加

・収入の部

・支出の部

項 目	予算額	摘 要	項 目	予算額	摘 要
会 費	96,000	48名	会議費	35,000	総会・役員会等
賛助会費	50,000		事務費	55,000	郵送、コピー等
繰越金	52,582	31年度繰越	印刷製本	50,000	機関紙印刷代2回
助成金	140,000	大仙市、社協	交通費	10,000	県総会他
寄付金	33,000	モテギ明和会	事業費	130,000	
事業参加費	60,000	会員参加費	負担金	76,000	県育成会・社協賛助
			消耗品費	60,000	
雑収入	418		予備費	14,000	慶弔費等
			雑 費	2,000	
合 計	432,000		合 計	432,000	

地区別会員数

大曲地区	19名	神岡地区	3名	南外地区	1名	賛助会員
中仙地区	6名	太田地区	5名			県内 2名
西仙北地区	5名	仙北地区	7名	合 計	46名	合計2名

健康増進活動

緊急事態宣言解除(5/25)
活動日 令和2年6月23日(火) 会員 16名 参加



参加者16名(男性5名、女性11名)大仙市各地から参加されました

毎年の事業に研修会とする事業が総会時(書面評決)に承認されています。令和2年度も昨年と同じように施設訪問を計画しました。しかし、新型コロナウイルス感染防止の理由にて受入施設より、お断りの要請がありました。役員会に於いて代わりの事業を行うべきとの結論に達し「健康増進活動」に急ぎ変更した次第です。行き先は大仙市内小友に位置する「秋田県立農業科学館」に決定、交通手段は午前10時まで各自の責任で集合する。



農業科学館を探索、館内見学・バラ園散策・東屋で休憩と・・・[4/16「緊急事態宣言」が全国に拡大、5/25に宣言が解除]その間のストレス解消に華が咲きました。昼食は「福家」を貸切したとか、お弁当を囲み近況報告等で笑って楽しいひと時を過ごしました。



グランドゴルフにて「コロナよ・・・飛んでいけ」の気合のなか「ホールインワン」達成者はだれ・・・



新型コロナウイルス感染防止による活動・行事開催の見通し

活動・行事内容	開催予定日	見通し	備考欄
大仙市手をつなぐ育成会総会	令和2年4月16日	開催中止	会員による書面評決6/4決定
視 察 研 修	6月11日	受入側から断りの要請	6/23「農業科学館」にて健康増進活動に変更
第62回手をつなぐ育成会秋田県大会(潟上市)	8月30日	延 期	具体的な開催日は未定(6/15現在)
第94回全国花火大会(大曲の花火)	8月29日	6/29見送り決定	大会委員会発表
大仙市福祉大会	10月	協議中	行政機関より開催1ヶ月前に案内
大仙市育成会交流会	10月	協議中	開催1ヶ月前、社会情勢を考慮する
本人活動支援事業	11月	申請許可得る	開催1ヶ月前、社会情勢を考慮する
第60回手をつなぐ育成会東北ブロック大会 青森市	9/12～9/13	延期の方向	年明け以降への延期を推奨
第7回全日本手をつなぐ育成会全国大会 愛媛県	10/3～10/4	延期の方向	年内の開催を中止とする。

開催について基本的な考え方
[全国育成会連合会]より

→

全国手をつなぐ育成会連合会からの新型コロナ感染防止に対するメッセージになります。秋田県内では感染者が少なく、ややもすれば油断され、感染されたとすれば大事件に発展します。それを踏まえて、会合は考えよう…

開催について基本的な考え方	○ 新型コロナウイルスは「3密」などの条件が揃えば容易に感染すること。手をつなぐ育成会の会員、障害者本人が新型コロナウイルス感染症における高リスク層に該当することを強く認識します。
	○ 現時点では有効な治療法や治療薬は確立しておらず、ワクチンも存在していませんので、対応が長期化することに留意します。
	○ 大規模な大会やセミナー等は、開催準備から本番、終了後の反省会に至るまで、いわゆる「3密」状態になりやすいことを意識します。
	○ 他方で、たとえば参加人数の小規模化、十分な着席間隔と換気の確保、参加者のマスク着用と手指消毒といった感染拡大防止措置講じることに加え、ウェブ会議システム等を活用することで開催可能な会議や勉強会等もあることも選択肢に加えます。

公益社団法人秋田県手をつなぐ育成会
令和元年定時会員総会 報 告

令和2年6月18日(金)、秋田県心身障害者総合福祉センター3階会議室に於いて、市町村育成会、施設保護者会等から出席を得て開催されました。議案の概略を記載します。

第一号議案	令和元年度事業報告について	・ 主な事業 (1) 福祉思想の啓発や情報提供 (2) 研修会・協議会の開催・行政等への問題提起活動 (3) 本人の社会参加の実現・福祉の増進活動の実施 (4) 知的障がいのある人のための各事業への共済、協力 ・ 法人組織運営・総会・理事会・幹事会・正副会議			議決・可	
第二号議案	令和元年度決算報告について	・ 正味財産期末残高 4,016,300円 (前年度より-1,349,994円) ・ 経常収益計 10,866,423円 ・ 経常費用計12,215,417円 収益 (公益事業7,661,540) (収益 3) (法人3,203,880) 費用 (公益8,103,385) (収益149,761) (法人3,962,271) 以上から (収益－費用)＝マイナス1,349,994円			議決・可	
第三号議案 監査報告について (略)					議決・可	
第四号議案	役員の選任 (解任) について (主な人事)	新代表理事 (会長)		秋田市育成会	田中 勉	議決・可
		新業務執行理事 (副会長)		角館町会長	田口ひとみ	
		解任	会長	秋田市育成会	高橋 精一	
			副会長	大仙市会長	柴田 貞二	
第五号議案	地区育成会 (親の会) 及び施設保護者の退会について	○ 稲川手をつなぐ親の会 (湯沢市三梨町) ・ 令和元年12月20日付けで退会届の提出あり ・ 退会事由 会員の高齢により、総会やその他の集まり事が出来なくなってきているほか、障害者本人が亡くなったたりして会員数も減少しており、保護者が親から兄弟に変わり、・・・退会することになった。				議決・可
		○ ワークしのめ保護者会 (能代市真壁地・・・) ・ 令和2年3月31日付けで退会届の提出あり ・ 令和2年4月1日に社会福祉法人能代ふくし会と統合 当事業所は3月31日をもって事業が終了、利用者はそれぞれ他の事業所に生活の場を移した。				
育成会定款		第8条		会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。		
柴田 貞二 退 任 事 由		・ 令和2年4月28日付けにて業務執行理事及び理事退任届を提出しました。 ・ 新型コロナ感染防止に関して、本人は呼吸気管疾病に付き、長期間治療を続けている掛かり付け医院及び掛かり付け薬剤師から「感染すれば確実に重篤になる故、くれぐも生活習慣に気配りを」その助言を得て業務への参加を遠慮する。				

大仙市手をつなぐ育成会 入会のご案内



障がい（児）者をもつ保護者として、悩みや要望を語り合ったり

福祉の増進のために活動する仲間になりませんか！

りねん 「利用者の一番のプロは私達 未来を作る出会いに夢を持つ」

◎ 会員 大仙市に住む障がい（児）者の保護者 ◎ 賛助会員 この主旨に賛同する方 地域問わず

◎ 年会費 会員 2,000円 賛助会員 2,000円以上

◎ 入会申込先 会長 柴田貞二 TEL0187-65-2525 ◎ 事務局 新田亮子 TEL0187-69-3108

※ 入会の申込者には入会申込書、振込み用紙を送ります。

賛助会員名

大森 徹 様	佐藤節郎 様	高橋隆子 様
加藤麻里 様	鎌田英寿 様	福岡恵子 様
武田雄平 様	茂木建設(株) 様	斎藤信志 様
渡部英治 様	伊藤講子 様	高橋悦子 様
佐藤芳郎 様	村上哲朗 様	中野昭満 様
出竹 潔 様	佐藤育男 様	藤井禧和 様

左記の方々が平成31年度(令和元年)の大仙市手をつなぐ育成会賛助会員の皆様です。皆様のご支援によって育成会が正常な形で運営されている事に感謝申し上げます。令和2年度に入り、予期せぬ事に新型コロナウイルス感染症が全世界、全人類に猛威を奮っています。

その影響下で育成会の活動、行事等の開催も中止・延期に及んでいます。大仙市育成会活動も国の「緊急事態宣言」の解除を受けて先般、役員会を開催しました。賛助会員の皆様に継続して支援を頂くことに、この状態では失礼に値するとの結論でした。

従って、今回は会費の徴収はご遠慮しましょうとの結論です。世が落ち着き活動が出来るまで休止とし、再開時には宜しく願います。

遠くは青森県、東京都、千葉県、美郷町、横手市、秋田市、大潟村、大仙市と地域を問わずご支援を頂いている事に感謝申し上げます。

大仙市知的障がい者相談員

高橋 正吉(花館柳町)	0187-62-4988	藤原 正人(協和船岡)	018-893-2139
進藤 功(六郷西根)	0187-65-2622	新田 亮子(払田)	0187-69-3108
高橋 公美子(神宮寺)	0187-72-4015	高橋 哲美(太田)	0187-89-1139
佐藤 晴子(土川)	0187-75-2501	高橋 司郎(長野)	0187-56-3735

※在宅支援や障がいのある方の身近な相談役として活動しています。秘密は厳守しますので、普段の生活のことや障がいのことなどをご相談ください。なお、それぞれの相談員に関することは社会福祉課に問い合わせ下さい。

大仙市社会福祉課 TEL0187-63-1111(内線162番)

※ 公益社団法人秋田県手をつなぐ育成会・H・Pアドレス <http://www.akita-ikuseikai.jp/>

編集後記

新型コロナウイルス感染症にまつわる「緊急事態宣言」が令和2年4月16日に全国に拡大され、その解除が5月25日になりました。その感染状況を見るに6月29日現在、全国で18,576名(死者数972名)に達しております。秋田県内は16名(4月16日以降確認されていない)の感染者が確認されています。全国から見れば5番目の小人数になります。感染防止の対策等はメディアを通して日々耳に入ります。県内は60日以上感染者が発生していないから安心であるとは言えない。第2波、第3波の発生があると言われています。感染症の恐ろしさを知り、各自が防衛(ワクチン、特效薬の出来るまで)する気概が必要かと思ひます。「油断大敵」を肝に命ずることを共有しましょう。 Teiji shibata